

# Katsuaki Sato Exhibition of Sketches

POST CARD



## 佐藤勝昭スケッチ展

パリを描く

2010年8月23日(月)～29日(日)



11:00～18:00  
最終日は16:00まで



ギャラリー ジョイアンドグレース

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6-6-10

Tel: 03-6273-2731

## 佐藤勝昭スケッチ展 パリを描く

2010年8月23日(月)～29日(日)

11:00～18:00 (最終日は16:00閉園)

千代田区外神田6丁目 ギャラリージョイアンドグレース



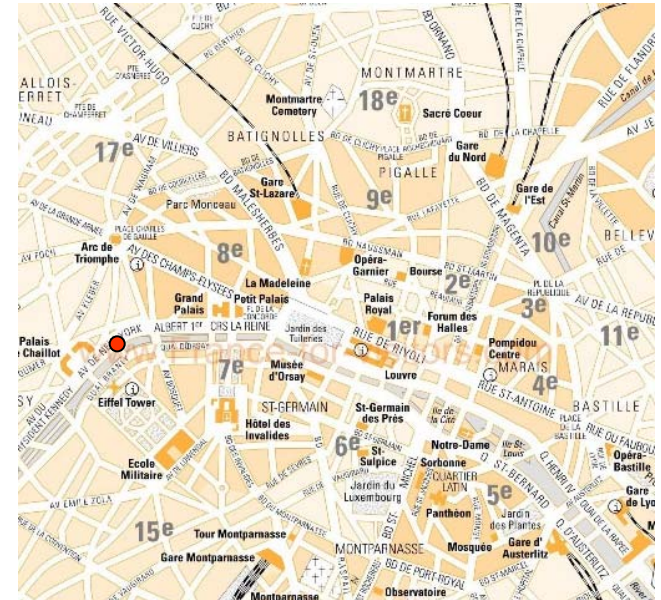
作者が30年にわたって描きためたパリ風景の水彩スケッチのうち  
作者が選んだ約20点の作品を展示します。  
お時間ございましたらご覧になってください。

佐藤勝昭 (社)日本画府洋画部常務理事・審査員

215-0017 川崎市麻生区王禅寺西6-21-2

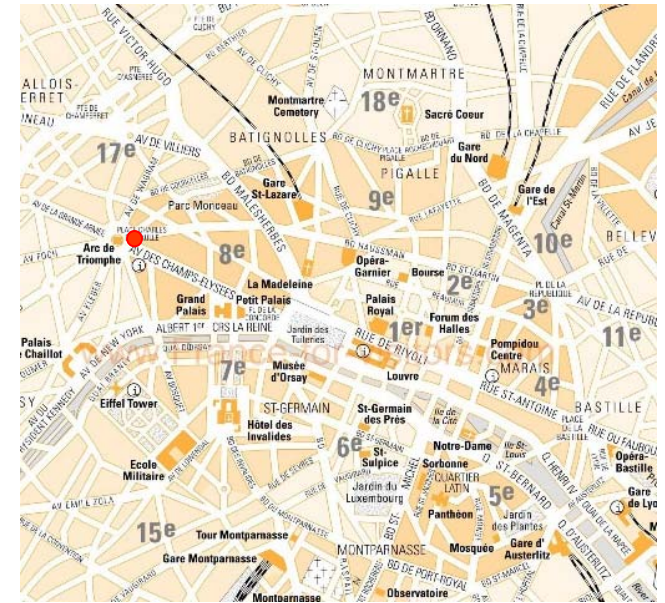
e-mail [katsuaki.sato@nifty.com](mailto:katsuaki.sato@nifty.com), Web <http://home.sato-gallery.com/>

# エッフェル塔を望む



- この作品は、パリで2002年に開催された三元多元化合物国際会議 (ICTMC13) のExcursionの際に描いたものです。

# 凱旋門



- この作品は、2000年の非線形磁気光学ワークショップ (Dourdanで開催)の帰途、パリで描いたものです。この日は戦勝記念日で町中に三色旗がはためいていました。

# シャンゼリゼ



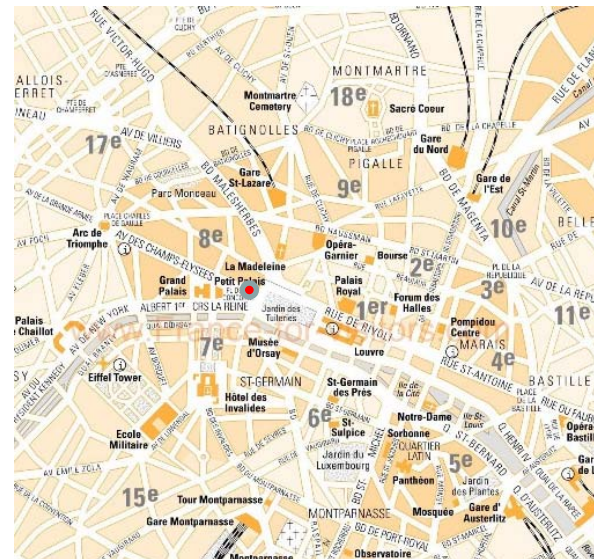
- この作品は、2000年の非線形磁気光学ワークショップの帰途シャンゼリゼで描いたものです。旗日だったので、路上のカフェテラスは家族連れや恋人たちで賑わっていました。

# セーヌ川を望む



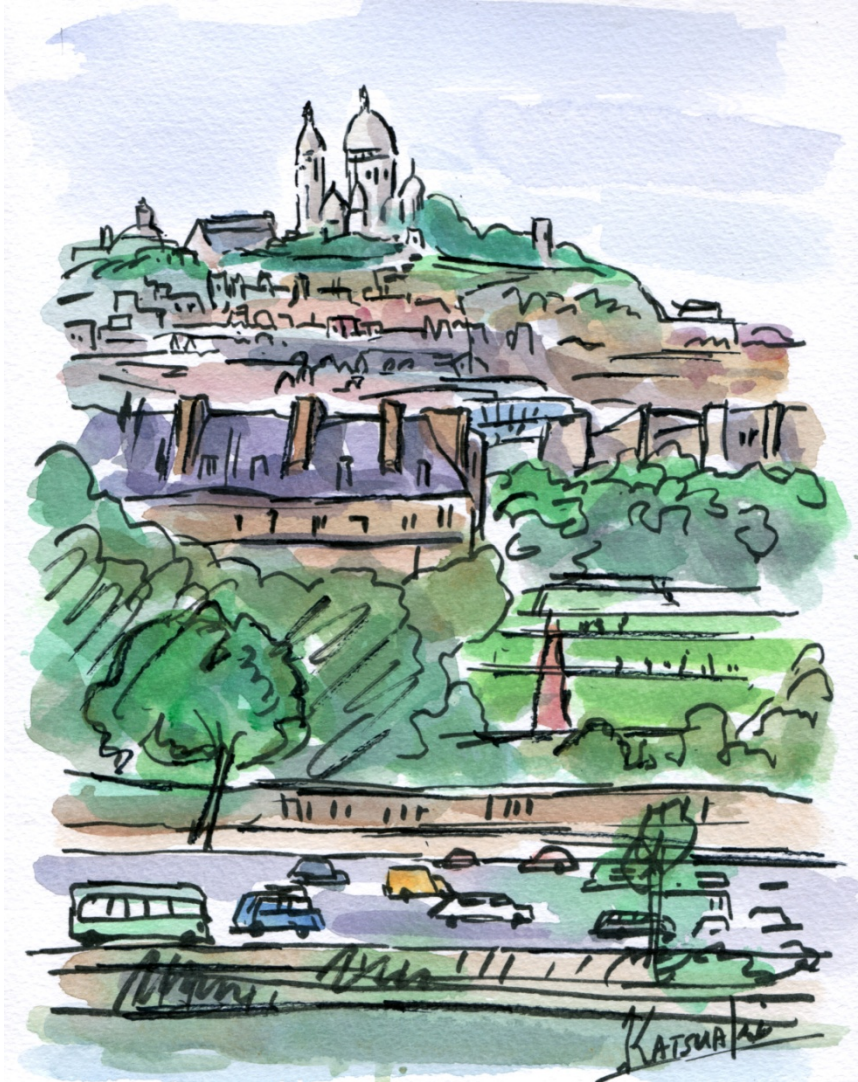
- 1997年末私はオランダに滞在していましたが、研究会のため来たパリで何点かスケッチをしました。この作品は、レオポールセダール橋から見たセーヌ川で、遠景にノートルダムが見えます。中景の橋はロワイヤル橋です。

# チュイルリーの池



- 1997年オランダに滞在していた私は、研究会のために訪れたパリで、晩秋のチュイルリー公園に感動を覚えました。遠景はルーブルです。

# モンマルトル遠望(1)



- 1988年ICM88のためパリを訪れオルセー美術館の絵に圧倒されました。屋上に出るとモンマルトルが正面に見えました。手前はセーヌ川沿いの自動車道路です。

# モンマルトル遠望(2)



- 1984年半導体国際会議(モンペリエ)に行く途中、パリに立ち寄りました。モンマルトルはポンピドゥー美術館の窓から正面に見えました。中景の黒い屋根はギャールドノール(北駅)です。



# サクレクール(1)



- 多くの画家が挑戦する「路地の向こうに見えるサクレクール」。

# サクレクール(2)



- 通常サクレクールをあまり近くで描くことはないが堂々たるたたずまいと精細な装飾は何時間見ても飽きることがない。

# ラパンアジル



- ロートレックで有名なラパンアジル。2階の窓のうさぎの絵で有名。この作品は、2000年のNOMOKEワークショップの帰途描いたものです。

# メゾンローズ



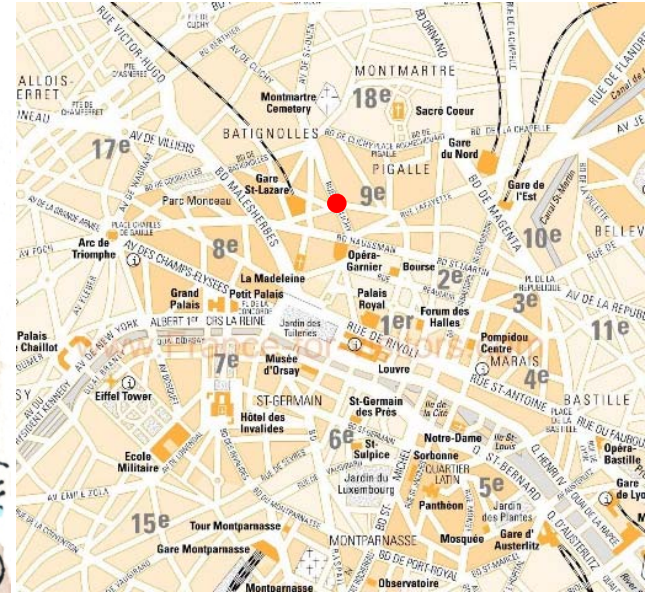
- モンマルトルの北側スロープにあるかわいいレストラン「メゾンローズ」
- この作品は、2000年のNOMOKEワークショップの帰途描いたものです。

# モンマルトルの階段下



- この作品は1991年の暮れのパリ訪問の際モンマルトルの丘から階段下を眺めて描いたもの。

# トリニテ付近



- この作品は1991年12月にギュスターブモロー美術館を訪れた帰りにデチエンヌドルブル通りで描いたものです。

# バスサン・ド・ラ・ビレット



- 1997年オランダに滞在していた私は、研究会のために訪れたパリで、セーヌ巡りの観光船の発着場になっているビレット公園に行きました。寒い朝でした。

# サンマルタン運河



- 閘門を明け水位を等しくして観光船を進入させ、再び閘門を閉じ、水位を上げて道路下のトンネルに入り、セーヌ川に向かわせます。
- 2000年のワークショップの帰路に描きました。

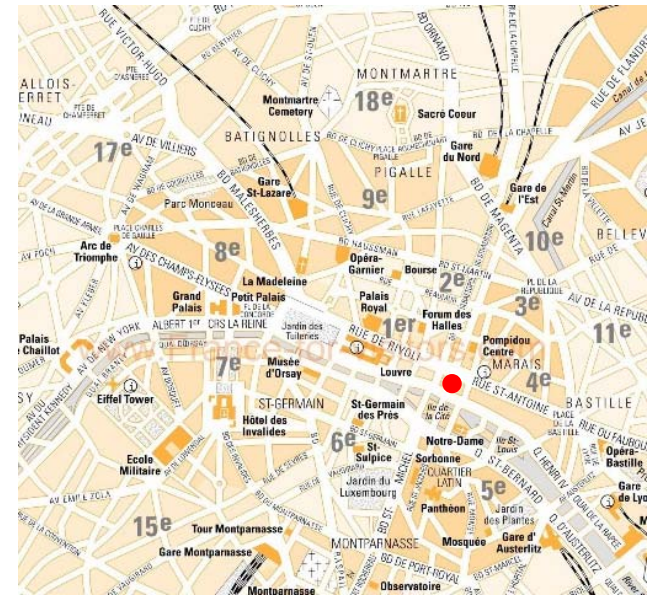


# レザール



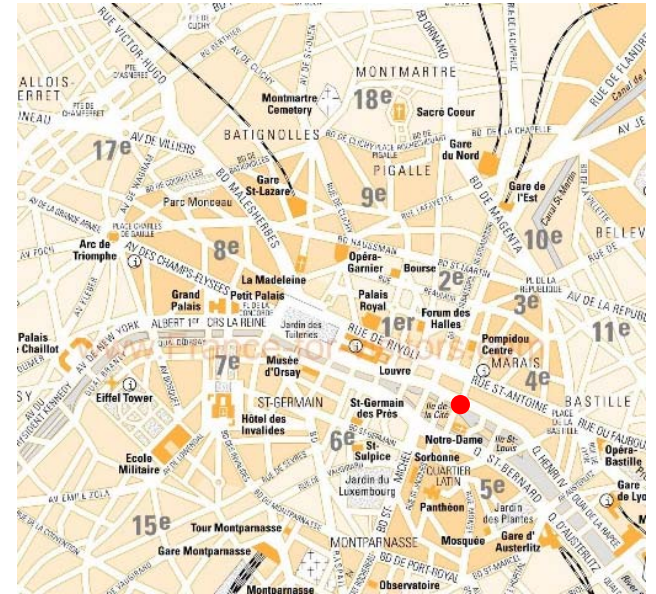
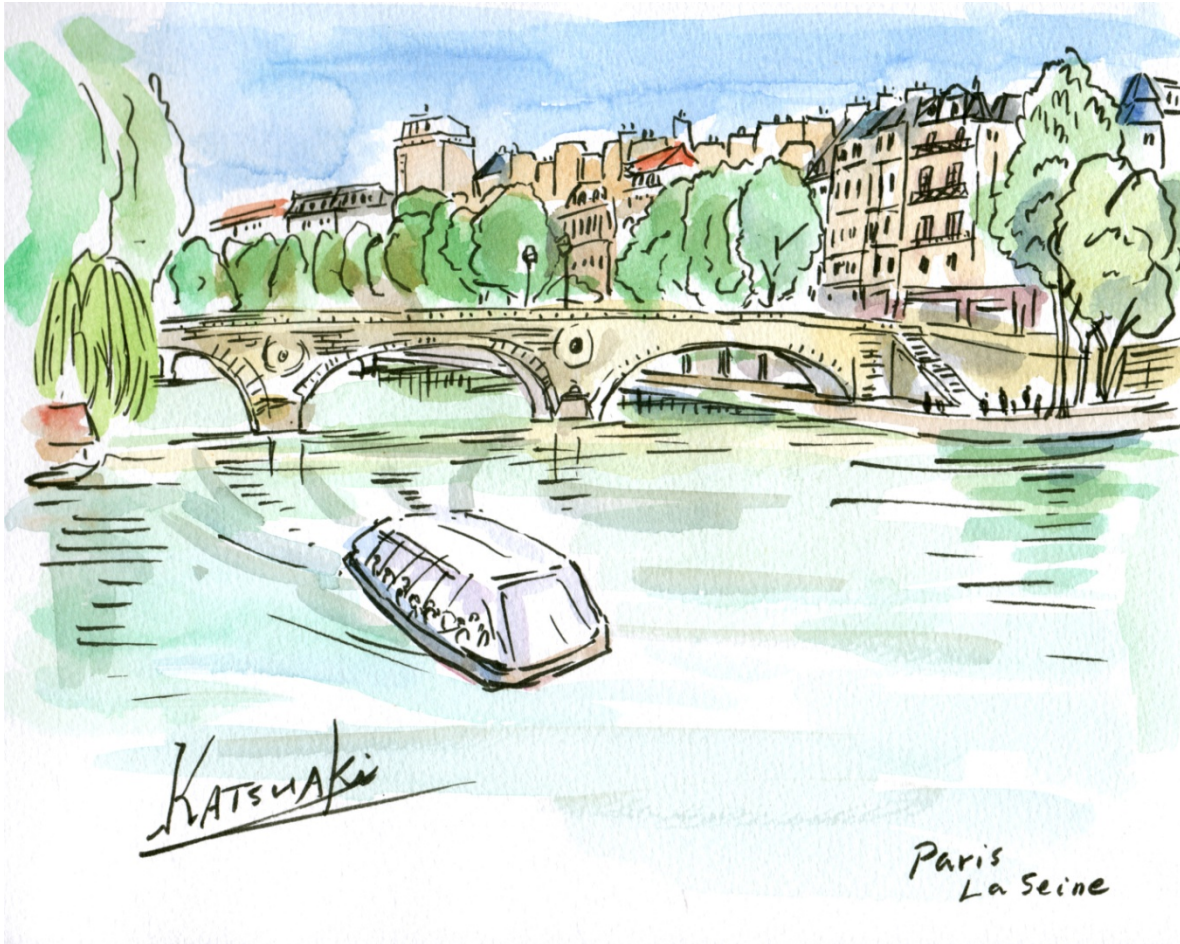
- この絵は2002年の光磁気国際会議(MORIS2002)の帰途パリのレザールにあるサンユースタクル教会の石段に腰かけながらモンマルトル通りを描いたものです。その日は日曜日で街は若者で溢れていました。

# オテルドビル(市庁舎)



- MORIS2002の帰途、パリの中心部シャトレーで市庁舎を描きました。この日は旗日で建物は三色旗とEU旗で飾られていました。

# セーヌ川



- 2004年8月、ICCG14 (グルノーブル)の帰路、4時間のトランジットの間にシャルルドゴール空港から地下鉄で都心に出てこの作品とノートルダムタ景を描きすぐ空港にとんぼ返りました。中景の橋はルイフィリップ橋です。

# ノートルダム夕景



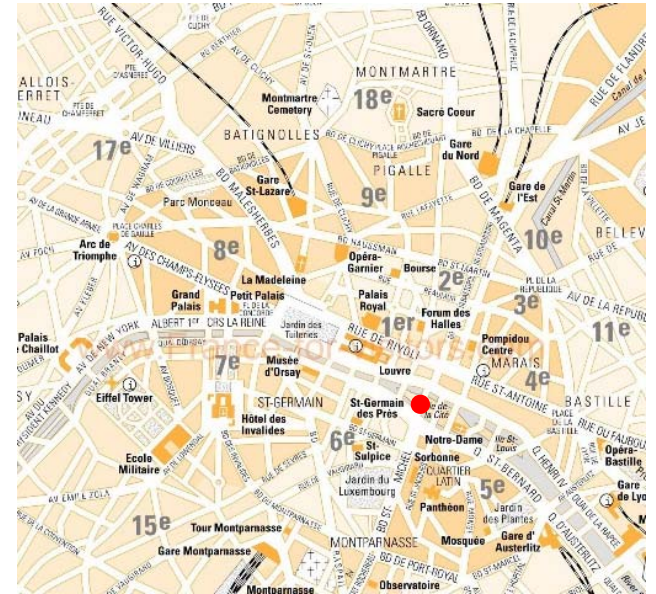
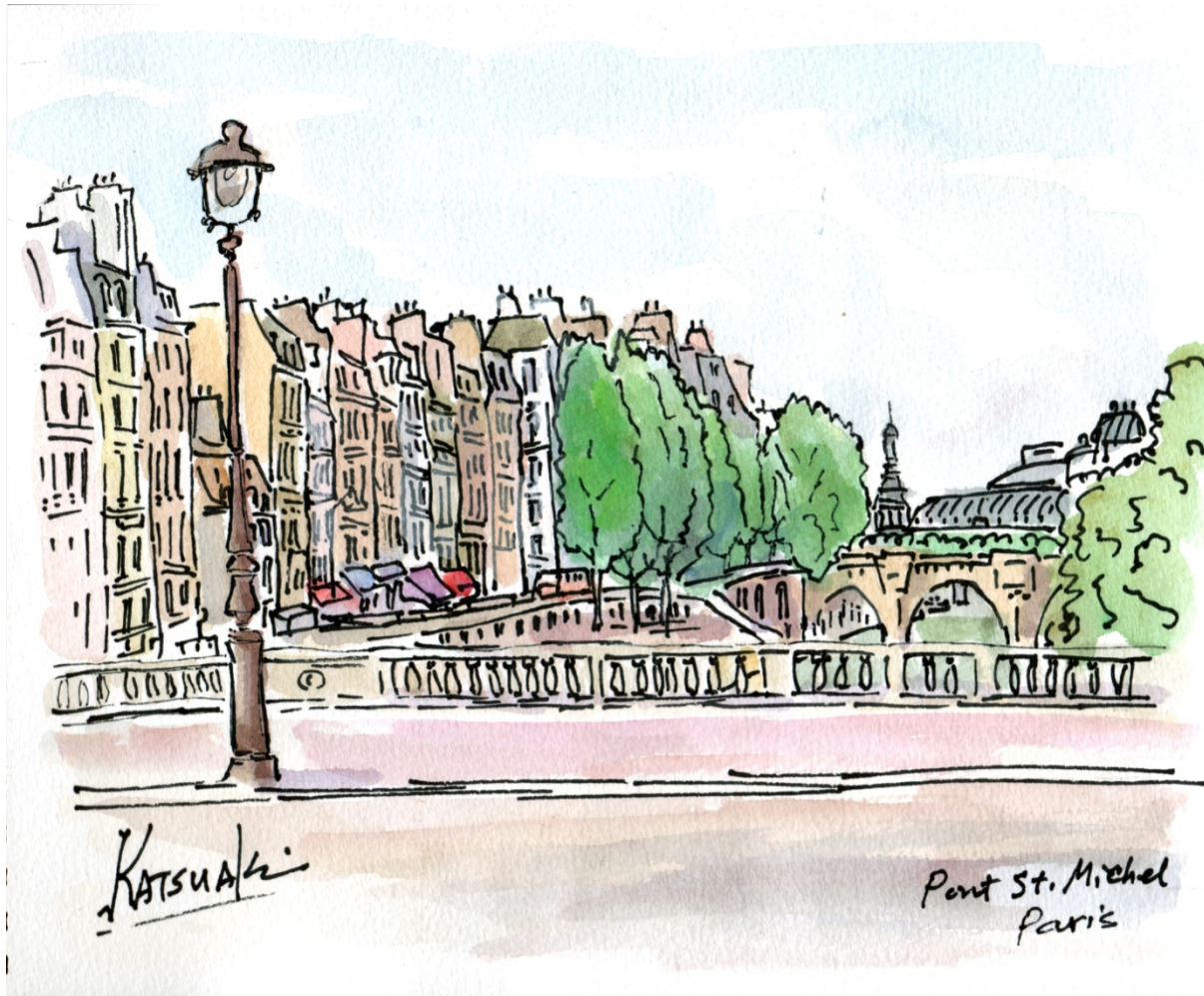
- 2004年8月、ICCG14（グルノーブル）の帰路、4時間のトランジットの間にシャルルドゴール空港から地下鉄で都心に出てこの作品（裏から見たノートルダム聖堂の夕景）とセーヌ川を描き、すぐ空港にとんぼ返りしました。

# ノートルダム寺院



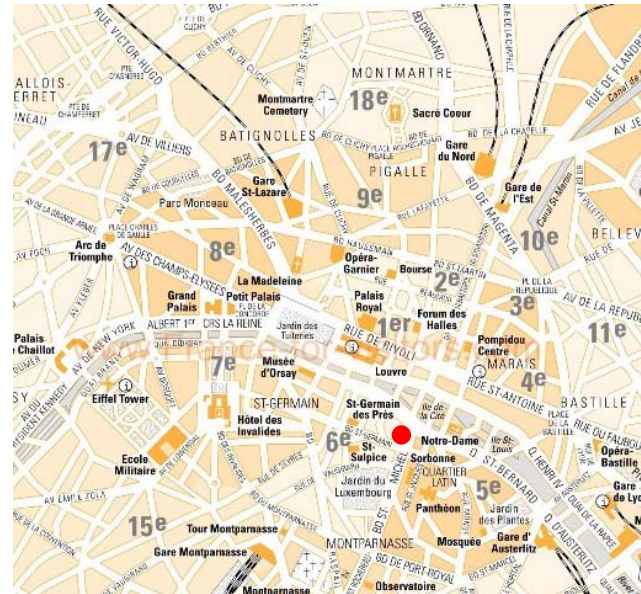
- この作品は1984年ICPSに向かう往路、パリで描きました。ノートルダム寺院の大きさに圧倒されました。寺院の前は観光客でいっぱいでした。

# サンミシェル橋



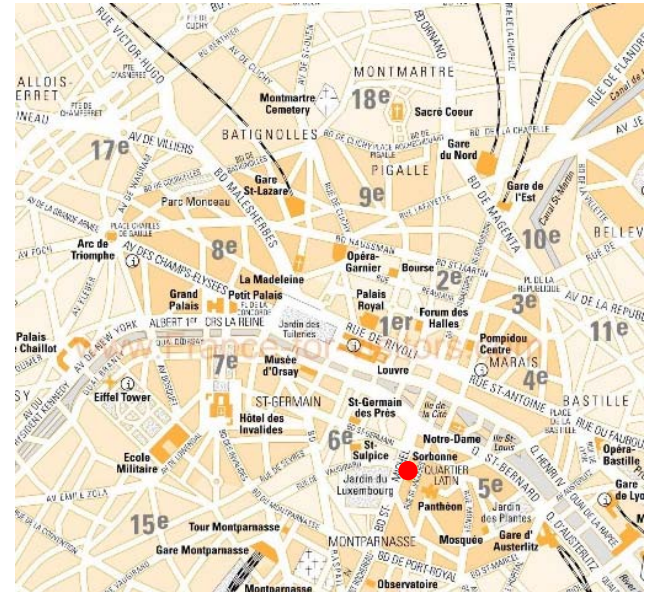
- この作品は2000年、パリ南大学を訪問するため、地下鉄の電車を待つ間に描いたものです。

# サンミシェル付近の街角



- 2000年、パリ南大学からサンミシェルに戻り、カルチエラタン付近の広場の夕景を描いた。夕日がサンセブラン教会の塔を照らし、美しかった。

# ソルボンヌ



- この作品は1988年ICMの開催されたパリで描きました。中世のソルボンヌ大学の面影を伝えるモニュメントです。

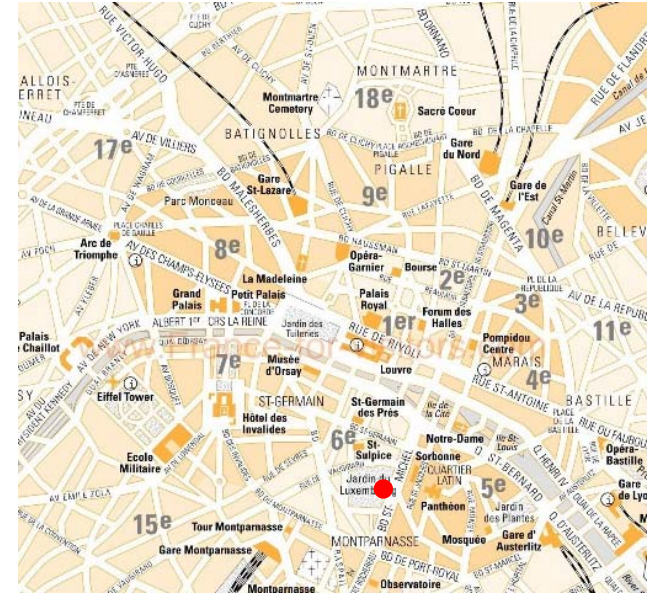
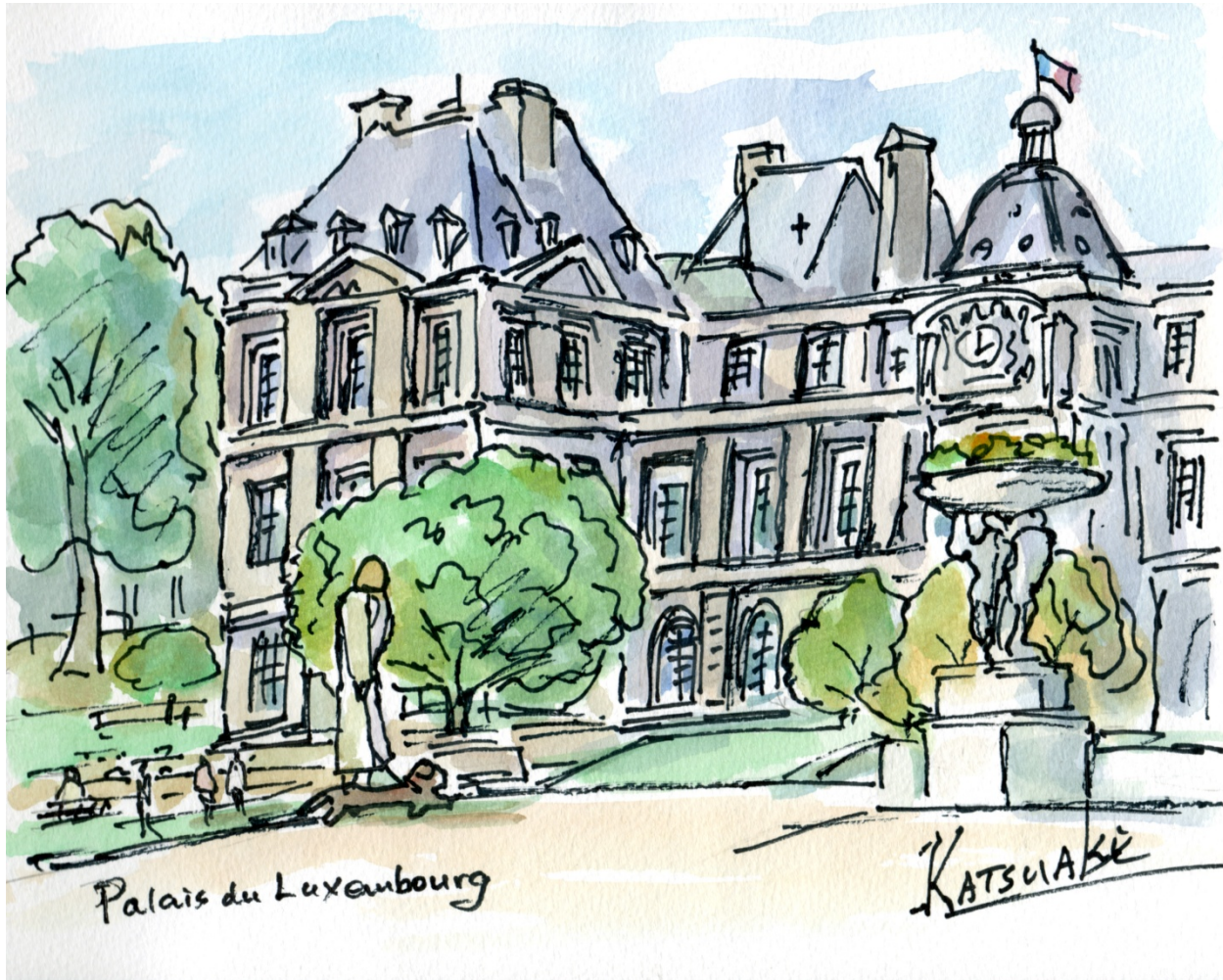


# パンテオンからエッフェル塔を望む



- この作品は、パリで2002年に開催されたICTMC13の昼休みの際に描いたものです。中景の緑はリュクサンブール公園です。

# リュクサンブール宮



- この作品は1988年に開催されたICM88の際、ホテルから会場に向かう際に描いたものです。
- 偏光の概念は、Malusという人がこの宮殿の窓で反射された夕日を方解石を通して眺めていて思いついたそうです。

# リュクサンブールのオレンジェリー



- この作品は1988年にパリで開催されたICM88の際、昼休みにリュクサンブール庭園で描いたものです。
- オランジェリーとは柑橘類を育てるための温室のことです。そばにはベンチでくつろぐ市民の姿がありました。